

平成 25 年度 第 1 回人権読本ぬくもり第 3 版検討委員会 議事録

- 1 開催日時 平成 25 年 5 月 16 日 (木) 16:00～17:30
- 2 開催場所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 8 名
- 4 事務局 教育支援課長ほか 6 名
- 5 傍聴人 なし
- 6 次 第
 - (1) 委員委嘱
 - (2) 委員長選出, 職務代理者指名
 - (3) 議事
 - ① 会議の公開／非公開の決定
 - ② 傍聴人規則の制定
 - ③ 意見交換

【記録】

(事務局) 教育委員会挨拶

(事務局) 委員委嘱

欠席者 1 名を含め合計 9 名の委員を委嘱。

(委員) 委員長選出／職務代理者指名

委員長が選出され, 委員長が職務代理者を指名。

(事務局) 諮問

(委員長) 会議の公開／非公開の決定

会議は公開と決定された。

(委員長) 傍聴人規則の制定

傍聴人規則として事務局案が採用。

(事務局) 教育委員会説明

ぬくもり第 3 版策定の趣旨等説明。

◆意見交換

(委員長)

- めくもり第3版は、道徳の時間でも活用できるものにする方針だ。歴史的には人権教育と道徳教育はすれ違ってきた現実があるので、両者を統一する試みは斬新だ。
- これまでの人権教育と道徳教育が持っていた問題点は、子どもたちに教訓を与えようとしてきたことだ。この問題を解決する仕掛けを作って行きたい。
- 現行のめくもりは、人権教育に関する作成者側の一定の思い込みが入っているので、そのような価値観を一旦解き放つことが必要。例えば職業については、一定の職業について思いを込める題材があったが、現状では定職に就くこと自体が困難。就職問題が既に人権問題の様相なので現実社会の問題を受け止めなければならない。また、前の戦争に関する題材は60～70年前の話。子どもたちにきちんと伝わるのか疑問で、伝え方に工夫が必要。
- ガイジ問題など新しい人権課題も出てきている。その根底にある学校現場の問題点を探りながら、全ての教科に関わる問題であると認識しなければならない。

以上のような委員長の発言に続き、各委員、めくもり第3版の方向性について意見を交換した。